

付近の延寿寺は、仙洞田氏の菩提寺である。



10 諏訪神社

仙洞田重清に嫁ぎ、入水した浅黄の前を祀る。貞和5年銘の鰐口は、県指定文化財。



こちょうぜんじ 1 古長禅寺

境内には大井夫人の宝篋印塔がある。また境内の発掘調査から中世から近世にかけての建物遺構が検出され、周辺にあったとされる大井氏の館との関連が推測される。県指定史跡。



あとべ かつすけ 2 跡部勝資屋敷跡 (了泉寺)

跡部勝資の屋敷跡と伝わる。勝資は武田信玄・勝頼二代の側近として活躍し、武田氏滅亡と運命を共にした。



3 阿弥陀寺

加賀美遠光が信心した阿弥陀堂を戦国時代に武藤三河守が寺として整備して開基となった。武藤氏は武田氏の親類衆で、大井氏からの養子入りが繰り返された。三河守は真田昌幸の養子であり、大井氏に入っていた。



4 明王寺

伝承によれば、秋山光朝が滅ぼされるきっかけになった明王寺相撲が開催されていた。付近には石投げ相撲場が大事に祀られている。寺宝の鰐口、木造薬師如来は、ともに国指定重要文化財。



6 最勝寺

聖武天皇の勅願寺として建立された県内屈指の古刹。寺宝の鰐口は、もともと甲斐国守護武田信重が、島上条村(甲斐市)の八幡宮に奉納したものと伝わる。聖観音菩薩像版木とともに県指定文化財。



7 大井氏屋敷跡 (蓮華寺)

こちらの大井氏は橘姓。鎌倉時代に大井荘司となった。大井氏の屋敷跡に開山されたとの記載が寺記にある。また、日蓮年譜にも日蓮が大井氏屋敷に投宿したとの記述がある。



8 妙法寺

前身は真言宗寺院であったとされる。改宗後は日蓮の直創寺院。山門は山梨県下最大で、その楼上には16羅漢が安置されている。6月から7月にかけて境内一面に咲くアジサイが有名。



11 諏訪虎王丸の墓 (本能寺)

箱原地区の本能寺裏手にある一石五輪塔は信玄によって自害に追い込まれた諏訪頼重の一子虎王丸の墓と伝わる。